

2021年3月17日

製薬企業のWish発表会



# EAファーマ株式会社 創薬研究パートナー募集

— EAファーマ株式会社のオープンイノベーション —

創薬研究所

探索統括部 外部連携チーム

坂 泰宏

# 本日のご説明内容



1. 会社概要
2. EAファーマのオープンイノベーションについて
3. 2021年度のwish list（募集内容）について

# 1. 会社概要



## 消化器のスペシャリティーファーマ

消化器疾患（がんを除く）に特化し、先進的な研究開発や患者様目線のマーケティング活動に経営資源を集中することによって未だ満たされない医療ニーズの解決に全力を尽くします。

発足日 2016年4月1日

事業内容 医薬品および医療機器の研究開発、製造、販売および輸出入

従業員数 約1,250名

(弊社HPより)

## 2. EAファーマのオープンイノベーション



### オープンイノベーション（連携）の考え方

- ・弊社の連携形態は「共同研究」です ※研究費助成ではありません
- ・研究員との議論により、最適な共同研究を設定します
- ・研究対象は消化器疾患のみに限定しません  
様々な疾患分野の研究を融合し、新しい視点や切り口から  
革新的な消化器疾患の治療薬開発につなげたいと考えます

## 2. EAファーマのオープンイノベーション



### オープンイノベーション（連携）の方法

- ① 創薬研究パートナー募集（期間限定：研究公募）
- ② 個別相談（随時受付）
- ③ 創薬ネットワーク活動（AMED MedU-net 経産省ほか）

# 創薬研究パートナー募集（研究公募）



ホームページを開設し**5月6日～7月30日まで**公募をおこないます

 EAファーマ株式会社 創薬研究パートナー募集

 EAファーマ株式会社  
トップページ


トップ

募集要項

募集プログラム

FAQ お問い合わせ

エントリー



EAファーマ株式会社は、消化器領域における  
日本発のスペシャリティ・ファーマとして、  
患者さまとご家族に幅広くソリューションを提供する  
ヒューマンヘルスケア(hhc)企業を目指しています。  
私たちは患者さまの更なる医療ニーズに応えるべく  
消化器疾患に関わる創薬探索研究、開発研究、  
ならびに創薬基盤技術研究に関する連携・共同研究を  
希望し、創薬研究パートナー募集を行っております。

# 公募の概要



## 応募対象者

日本国内の大学、公的な研究機関などに所属する研究者  
応募内容の研究を日本国内で実施可能な方

## 選考基準

募集プログラムとのマッチング、社内プロジェクトとのコンフリクト、研究内容の独創性、研究計画の実現性などを選考基準とさせていただきます。

## 選定スケジュール

公募期間：**2021年5月6日～7月30日**

一次選考（書類審査）：原則ご応募から1か月以内に結果をお知らせいたします。

二次選考（面談による選考）：期限は設定せず、当社研究員との議論を基に選定いたします（必要に応じて秘密保持契約を締結いたします）。

## エントリー方法

当ウェブサイトの「[エントリー](#)」をご覧ください。

## 共同研究契約 締結について

採択案件は、ご所属の研究機関と共同研究契約を締結します。

## 注意事項

**非機密情報のみで資料の作成をお願いいたします。**

他社との共同研究等に採択されている場合はお断りする場合がございます。  
応募頂きました資料、および情報は選考以外の目的では使用いたしません。

# 個別相談

- ① アカデミア（連携ご担当様、研究者の皆様）から
- ② 弊社よりアカデミアの皆様にお声かけ

- ・シーズの出口としての可能性のご相談
- ・弊社wish listとのマッチング度についてのご相談
- ・アカデミックな議論のご相談
- ・連携の可能性のご相談
- ・技術的なご相談

弊社から  
皆様への期待

皆様から  
弊社への期待

シーズ/ニーズの  
ご相談からコラボ  
レーションへ発展





# 採用実績



年度	個別相談 公募件数	採用件数 (CDA以降)	継続検討 案件
2018	53	4	—
2019	67	11	—
2020	41	3	5

共同研究費 250万円～1,000万円

共同研究期間 1年～複数年

- 個別面談のうち ～30%の応募者については、今後の連携の可能性をフィードバック
- 毎年、数件の共同研究契約を締結
- Wishとの適合性、共同研究内容（期間・費用含む）

# 2021年度 wish list (募集内容)



**炎症性腸疾患**

**潰瘍性大腸炎**

**クローン病**

**肝臓**

**NASH**

**膵臓**

**急性膵炎**

**慢性膵炎**

**消化管機能**

**過敏性腸症候群**

**小腸**

**NSAIDs起因性小腸粘膜傷害**

**消化管**

**他疾患の治療による**

**その他疾患**

**消化管副作用**

# 募集内容の詳細(1)



## 炎症性腸疾患：Inflammatory bowel disease (IBD)

### 1) IBD患者の免疫細胞の機能制御について

既存の抗炎症薬とは異なる機序により免疫応答を補正する、下記に記載の因子に関連する創薬候補、または創薬標的候補、および機構を募集します。

- ① 自然免疫の過剰応答を是正または収束する因子
- ② T細胞のポピュレーションに影響を与える因子
  - (ア) T細胞の分化または可塑性に作用し、抑制的なT細胞ポピュレーション形成を達成する因子
  - (イ) 腸炎の増悪に関わるT細胞を選択的に減少させる因子

① ②のいずれもin vitro での試験結果があることを必須とし、in vivoまたはヒトでの知見があることが望ましいです。

# 募集内容の詳細(2)



## 炎症性腸疾患 : Inflammatory bowel disease (IBD)

### 2) IBD患者の腸管バリア機能の制御について

IBD患者腸管における粘膜バリア機能の調節に有益な効果を有し、下記に記載の因子に関連する創薬候補を募集します。

- ① IBD患者腸管の透過性を改善する因子 (感染症以外)
- ② IBD患者腸管上皮細胞の創傷治癒を促進する因子 (成長ホルモン以外)

①、②のいずれもin vitroおよびin vivo での試験結果があることを必須とし、ヒトでの効果が期待されることが望ましいです。

<除外事項>

・食品成分、およびそれに類する既知化合物

# 募集内容の詳細(3)



## 非アルコール性脂肪性肝炎：Non-alcoholic steatohepatitis (NASH)

1) NASスコア（肝細胞脂肪化、炎症性細胞の浸潤、バリーニング）、および肝線維化進展の改善に関わる創薬アイデア、および創薬標的を募集します。

<優先的に評価する候補>

- ・胆汁酸センシング/胆汁酸腸肝循環制御にかかわる創薬標的
- ・NASHに関連する脂肪毒性/コレステロール結晶化の蓄積を是正できるMOAを持つ創薬標的
- ・脂肪動態に関わる創薬アイデア、創薬標的
- ・ミトコンドリアの障害/機能低下/機能不全を補正するMOAを有する創薬標的
- ・NASH発症の性差（男女差）に着目した創薬アイデア、および創薬標的

<除外事項>

- ・既存のMOAに対する開発薬（例：ASK1、GLP1、FXR作動薬、PPAR作動薬など）
- ・NASH開発候補品、および候補物質（特許出願済みの候補品）
- ・炎症性細胞のみ、星細胞のみを対象とする創薬標的
- ・細胞治療、遺伝子治療
- ・食品成分、およびそれに類する既知化合物の合剤

# 募集内容の詳細(4)



## 膵炎 : Pancreatitis

**1) 急性または慢性膵炎に対して予防ならびに治療効果を有し、高い安全性が期待される創薬標的候補、または創薬候補を募集します。特にミトコンドリアの障害/機能低下/機能不全を補正するMOAを有する創薬候補、もしくは細胞死（特にネクローシス）を抑制できるMOAを有する創薬候補を募集します。**

- ・創薬候補の作用標的が明らかとなっていること、標的に対し高活性を有することが確認されているリード化合物が見出されていることが望ましいです。
- ・長期投与可能な、高い安全性の期待できる創薬候補であることが望ましいです。
- ・膵炎病態モデルでの薬効データ取得は必須ではないが、取得していればなお望ましいです。

<除外事項>

- ・食品成分、およびそれに類する既知化合物の合剤

**2) 膵石の生成を予防できる創薬アイデアを募集します。**

# 募集内容の詳細(5)



## 過敏性腸症候群 : Irritable bowel syndrome (IBS)

**1) CNSの異常（例：中枢性の痛覚過敏など）の改善により、下痢や便秘の副作用無くIBSの腹痛緩和/抑制が期待される創薬候補を募集します。** CNSそのものに対する作用ではなく、末梢組織や末梢神経を一次標的とし、その結果としてCNSの異常を改善し得る創薬候補品が望ましいです。

**2) IBSにおける末梢の痛覚過敏を改善できる創薬候補を募集します。**

1) 2) いずれも、以下を必須とします。

- 創薬候補は臨床開発品が定まっていること。
- 標的分子が明確であること。
- 創薬候補が下痢・便秘の副作用を示さないことが臨床又は非臨床にて示されている、またはMOAから想定されること。

管腔作用型の創薬候補の場合、臨床用量設定に活用を見据えたバイオマーカー候補があることが望ましいです。腹痛改善に加えて、下痢または便秘一方だけでも消化管運動異常を改善し得ることが示されている、または想定される場合はより望ましいです。

<除外事項>

- probiotics、 prebiotics、 synbioticsおよび食品成分

# 募集内容の詳細(6)



## NSAID起因性小腸粘膜傷害：NSAIDs-induced mucosal injury in small intestine

1) NSAIDsや低用量アスピリンの慢性服用時に発生する小腸粘膜傷害に対して、例えば粘膜上皮バリア、粘膜血流、血管内皮細胞、炎症収束促進機構 (resolution)、腸内細菌などへの作用を介して、予防効果あるいは治療効果が期待できる創薬候補または創薬標的候補を募集します。

- ・創薬候補は標的分子が明確であることを必須とします。
- ・創薬標的候補は全身の免疫機能への影響や下痢などの副作用がなく、安全性が期待できるものが望ましいです。
- ・NSAIDsや低用量アスピリンの主薬効を阻害しないことを必須とします。
- ・NSAIDs小腸傷害のin vivo評価結果があると望ましいです。

### <除外事項>

- ・プロスタグランジンの補充 (PGE誘導体など) や抗生物質、NSAIDsの改良 (製剤工夫や粘膜傷害を発生しない新規消炎鎮痛剤の標的など)
- ・probiotics、prebiotics、synbiotics、および食品成分



# 募集内容の詳細(7)



## 他疾患の治療による消化管副作用

**1) がんを含む様々な疾患の治療によって消化器に生じる副作用（抗がん剤による粘膜傷害など）に対する予防または治療効果が期待される創薬候補を募集します。**

・創薬候補は臨床POC取得前の臨床開発品、またはすでにGLP試験を終了しているもの、またはGLP試験を予定している、もしくは実施中の非臨床開発候補品とします。

## その他疾患

**1) がんを除く、治療満足度が満たされていない消化器系疾患（例えば消化器希少疾患など）に対して治療効果が期待される創薬候補を募集します。**

・創薬候補は臨床POC取得前の臨床開発品、またはすでにGLP試験を終了しているもの、またはGLP試験を予定している、もしくは実施中の非臨床開発候補品とします。

# 募集内容の詳細(8)



## 非アルコール性脂肪性肝炎 : Non-alcoholic steatohepatitis (NASH)

### 1) 組織中の脂質組成を測定する技術

- ・組織・細胞内の脂質組成を定量・可視化（イメージング）できる技術を募集します。
- ・血液中の脂質組成を簡便かつ高精度に定量分析できる技術を募集します。

## 膵炎 : Pancreatitis

1) 慢性膵炎患者において、膵臓の障害の程度を判定可能なバイオマーカー候補（タンパク質・核酸など）を募集します。血液など侵襲性が低い検体で判定できることが望ましいです。

- ・非臨床試験において少量の検体でバイオマーカーとして確認できていることが望ましいです。

2) 膵石が評価可能な動物モデルを募集します。

3) 膵石形成・膵石予防に関する基礎研究テーマを募集します（病態仮説、評価技術など）。

<除外事項>

- ・膵石破壊、膵管ステント等によるドレナージに関するご提案

# 募集内容の詳細(9)



## 過敏性腸症候群 : Irritable bowel syndrome (IBS)

**1) IBSの中樞異常を反映し、表現型として慢性的な内臓痛覚過敏（必須）や消化管運動異常（下痢または便秘、または両方）を呈する動物モデルを募集します。**

- ・IBSの病態であることを説明できる根拠を有することを必須とします。
- ・陽性対照薬によって評価がなされていることを必須とします。

**2) IBS患者において、内臓痛覚過敏の有無を判定可能な臨床バイオマーカー候補を募集します。**

- ・非臨床試験においてバイオマーカーとして確認できていることが望ましいです。
- ・臨床において利用可能であるバイオマーカーであることを必須とします。

# 募集内容の詳細(10)



## NSAID起因性小腸粘膜傷害：NSAIDs-induced mucosal injury in small intestine

1) 非臨床試験において、小腸粘膜傷害を非侵襲的に測定できる技術、またはバイオマーカー候補を募集します。小腸の炎症を継時的に評価、定量できる技術、臨床での診断や評価への活用が期待できる小腸炎症のバイオマーカー候補を募集します。

- ・非臨床試験にて確認に使用できることを必須とします。
- ・臨床に適応できることが望ましいです。

<除外要件>

- ・RI（放射線）を使用する測定技術

# 研究キーワード(1)



## IBD

細胞の可塑性      Th1/Th17/Treg バランス      肉芽腫      Creeping Fat  
粘膜バリア機能      腸管透過性      腸管上皮細胞の治癒／再生      IBD患者の層別化

## NASH

脂肪酸／脂質組成の高精度分析      脂質組織分布／イメージング      胆汁酸  
腸肝相互作用      NASHにおける性差

## 膵炎

膵石形成／動物モデル      腺房細胞保護      膵炎バイオマーカー

## IBS

中枢／末梢の痛覚・知覚過敏      腹痛緩和／抑制／改善      脳腸相関  
消化管運動異常（平滑筋/神経）      動物モデル      IBS関連バイオマーカー

# 研究キーワード(2)



## NSAIDs起因性小腸粘膜傷害

粘膜バリア機能    粘膜血流    炎症収束促進機構    粘膜治癒/再生

粘膜傷害の非侵襲イメージング/バイオマーカー

# EAファーマ株式会社より 皆様へ

皆様とのオープンイノベーションの機会を広く求めています。



EAファーマ

EA 創薬

検索



<http://www.eapharma.co.jp/openinnovation/>

[yasuhiro\\_saka@eapharma.co.jp](mailto:yasuhiro_saka@eapharma.co.jp)

[faq\\_skpartner\\_ea@eapharma.co.jp](mailto:faq_skpartner_ea@eapharma.co.jp)

ご清聴ありがとうございました。